

## 座談会

# 海外駐在員・出張者の安全を考える

海外で業務を行う社員に何を伝えるか。

各社で海外安全対策を担っている皆さんに、

赴任前・赴任後の研修のあり方などについて意見を交わしてもらった。



右から櫻田さん、堀尾さん、松窪さん、大洞センター長

### 【出席者】堀尾 卓さん

伊藤忠商事株式会社 人事・総務部  
統括室 海外安全対策チーム長

### 松窪昌幸さん

株式会社神戸製鋼所 総務部  
東京総務部ループ長

### 櫻田学彦さん

アルプスアルパイン株式会社 人事部  
人事企画課

### 【司会】大洞 豊

日外協 海外安全センター長

**大洞** 本日は企業の海外安全教育について、皆さんにお話をうかがいます。最初に各社の海外安全・危機管理体制についてご紹介ください。

**堀尾** 当社の海外拠点は約 100。駐在員は約 800 人、家族を含めると 1500～1600 人になります。海外駐在員と家族の安全対策を一括して人事・総務部の中の 4 人でみていますが、専任は私 1 人です。

海外は北米、欧州、アジア・大洋州など 7 つのブロックに分けていて、各ブロックに人事・総務担当者を配置し、安全対策関連業務も担当しています。

**松窪** 総務部の東京総務グループで、海外安全に関する業務のうちテロや誘拐、不当拘束を中心に 3 人で担当しています。全員が兼務です。海外には 71 拠点あり、最も多いのは中国。駐在員は 300 人弱、家族を含めると約 600 人。加えてグループ会社でもここ数年、積極的に海

外展開を進めていて 200 以上の拠点があります。これらをどう本社からみていけばいいのか、今後の課題です。

**櫻田** 海外拠点は旧アルプス電気の関係だけで約 50。駐在員は 200 人弱で、家族は約 150 人います。当社では全社危機管理委員会を設けていて、その下に各リスクの内容に応じて担当部署を割り当て対応します。海外安全については人事と総務で臨機応変に役割分担しています。専任の担当者はいません。

## 海外駐在員・赴任前

### 事件や事故を他人事にしない

**大洞** 赴任前の海外安全教育では、どのようなことを行っていますか。

**櫻田** 赴任前研修は年 3 回行っています。内容のほとんどはマネジメント系で、その中に賃